

平成29年2月13日

金属産業新聞（2面）に掲載されました



会期中の会場の様子

「産業の塩」に1971名来場

川崎図書館 ねじ協会も製品提供

神奈川県立川崎図書館は昨年9月9日～11月11日の期間（会期101日間）、ミニ展示「産業の塩 生活を支える『ねじ』」を開催。期間中同館には1971名の来場があった。

ミニ展示では（一社）日本ねじ工業協会の未来開発パブリシティ委員会（藤田守彦委員長）も協力し、会員企業からの製品提供もあった。展示素材は次の通り。
▽（株）竹中製作所：特殊表面処理（タケコート）ボ

ルト・ナット▽（株）イチャナギ：緩み止めナット
「スカートナット」▽富士セイラ（株）：防水・防油機能付きねじ「シールアップスクリュー」▽（株）河坂製作所：アンカーボルト▽日東精工（株）：樹脂用

セルフタッピングねじ「ギザタイト」、極小ねじ（呼び径0.6mm）、頭部刻印ねじシリーズ▽（株）丸エム製作所：「バーチヤル工場見学のパネル板、マグネシウムねじ」▽（一社）日本ねじ工業協会：「JIS本体規格品推奨パネル」、冊子「附属書品から本体規格品への切り替えガイド」、DVD「この世はねじでできている」

セルフトッピングねじ「ギザタイト」、極小ねじの来場もあった。また、10月15日には講演会として、門田和雄氏（宮城教育大学・准教授）を招き「トコトンやさしい『ねじ』のお話し」が開催され、50名の定員に対し約90名の応募があり満員。門田氏はねじの歴史・規格・流通・はたらかぎ（原理）・種類・加工方法等について説明した。同展のアフターレポートは、同館HP（<http://www.kinet.pref.kanagawa.jp/>）内の「コーナー」司書の出番！」で公開している。